

## 【テーマ2】誰もが活躍できる安全・安心な社会の実現

### めざす方向

人口減少・超高齢社会に的確に対応し、誰もが活躍し安心して暮らせる持続可能な社会の実現をめざし、下記目標を達成するため、「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」(\*10)の着実な推進に向け総合調整を行います。また、大規模自然災害が起こっても、人命を保護し、機能不全に陥らない強靱な地域をつくり上げるための「大阪府強靱化地域計画」(\*11)を着実に推進します。

(中長期の目標・指標)

- ・ 合計特殊出生率：1.31（平成 26 年） ➡ 前年を上回る。
- ・ 健康寿命：男性 69.39 歳、女性 72.55 歳（平成 22 年） ➡ 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加。
- ・ 転出超過率（対東京圏）：0.13（H26） ➡ 前年を下回る。
- ・ 地震による被害予測：134,000 人（平成 25 年） ➡ 限りなくゼロに（～平成 36 年まで）。

### 「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の取組み

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>  | <何をどのような状態にするか（目標）>  | <進捗状況（H29.3月末時点）>   |
|---|--|---|
| <p>■「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部署と連携して府総合戦略を着実に実施し、その進捗状況や効果検証等について、「大阪府まち・ひと・しごと創生推進審議会」において審議。</li> <li>・ 審議会における検証等を踏まえつつ、部局横断的な課題については、関係部局と共に検討チームを設置するなどにより、解決に向け具体的な取組みを進める。</li> <li>・ 審議結果を踏まえ、具体的目標（めざす方向の中長期の目標・指標等）の達成に向けた施策等について検討を行い、「平成 29 年度版 具体的な施策と重要事業評価指標（KPI）」を設定。</li> <li>・ また、これらの施策については、国の交付金も活用しながら、府庁全体で取組みを進める。</li> <li>・ 大阪・関西の強みや集積を活かして、スマートエイジング・シティ(*12)の具体化の実現や先進的ながん治療法である BNCT(*13)の早期実用化促進を進め、地方創生において全国を先導する。</li> </ul> <p>(スケジュール)<br/>平成 28 年度内<br/>⇒ 「大阪府まち・ひと・しごと創生推進審議会」を開催（2 回）。また、必要に応じて「大阪府まち・ひと・しごと</p> | <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて、「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂。</li> <li>・ 指標（KPI）をもとに、各施策の進捗状況の確認、効果検証等を行い、未達成事業については、より効果の高い施策（事業）への重点化、組換え等を実施。</li> </ul> <p>◇成果指標（アウトカム）<br/>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記「めざす方向」に掲げる目標について、達成に向け着実に推進。</li> </ul> | <p>○国や関係部局との協議調整に努め、当初の 8 事業に加え、しごと創生やまちづくり分野の 3 事業で、新たに国の交付金を獲得し、「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図った。</p> <p>○府総合戦略の具体的目標のうち来阪外国人数を 1300 万人に改訂（12 月）するとともに、審議会において、達成状況の確認等を行った。（7 月、2 月）</p> <p>○スマートエイジング・シティの具体化の実現については、地方創生加速化交付金を活用し、府内先行モデル 3 地域の全てで「食×健康寿命延伸」をテーマにヘルスケアビジネスの創出支援と、住民向け啓発イベントを実施した。</p> <p>○BNCT に関しては、大阪医科大学内に整備される医療拠点について、開かれた「共同利用型施設」となるよう BNCT 推進協議会において検討し、取りまとめを行った。また、研究拠点（京大原子炉実験所）の機能強化に向け、関係者間で認識を共有した（3 月）。</p> |

と創生総合戦略」を改訂。

**「大阪府強靱化地域計画」の着実な推進**

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞

■「大阪府強靱化地域計画」の進捗管理

- ・「大阪府強靱化地域計画」で想定する「起きてはならない最悪の事態」を回避するため、関連計画が着実に推進するよう、進捗管理を行う。
- ・必要に応じて部局と連携し、より効果的な取組みについて引き続き検討する。
- ・進捗状況が遅れている取組みについては、状況把握や課題整理を行い、部局と連携しながら取組みを進める。

（スケジュール）

平成 29 年 3 月 ⇒ 進捗状況の集約

＜何をどのような状態にするか（目標）＞

◇活動指標（アウトプット）

- ・「大阪府強靱化地域計画」の目標の達成に向け、取組みを前進。
- ・関連計画の進捗に関する評価・分析等を踏まえて課題を抽出したうえ、次年度以降へ向けた対策を部局と検討。

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・計画に記載された取組を着実に推進することで、最悪の事態に陥らない強靱な地域を作る。

＜進捗状況（H29.3月末時点）＞

- 危機管理室とともに関連計画の進捗管理を行い、関係部局において、防潮堤液状化対策の緊急3ヶ年対策や土砂災害防止法に基づく区域指定等を計画通りに実施した。
- 平成 28 年熊本地震の教訓を踏まえ、関係部局において、り災証明の迅速な発行に向けた市町村の支援等を行うよう調整した。

【部局長コメント（テーマ2 総評）】

＜取組状況の点検＞

■「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の取組み

当初の目標を、達成することができました。

- ・国の交付金も活用し、戦略に基づく地方創生の取組の着実な推進を図ることが出来ました。

■「大阪府強靱化地域計画」の着実な推進

当初の目標を、達成することができました。

- ・「大阪府強靱化地域計画」については、関連計画の進捗管理を行い、関係部局において防潮堤の耐震対策や土砂災害防止法に基づく区域指定等を計画通り実施するなど、大阪府の防災・減災対策を着実に推進しました。

＜今後の取組みの方向性＞

■「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の取組み

- ・ 審議会での効果検証等も踏まえ、引き続き、関係部局と連携しながら新たな交付金の獲得を進めるなど、「大阪府まち・ひと・しごと創生府総合戦略」における具体的目標の達成に向けて、取組みを推進していきます。
- ・ 「スマートエイジング・シティ」の具体化に向け、先行モデル地域における事業を汎用モデル化し、新たに事業着手を促すべく情報発信を着実に推進していきます。  
また、取組み実施主体間のネットワーク形成に向け、関係者間の調整を図っていきます。
- ・ BNCT 医療の具体化に向けて、専門人材の育成や認知度向上に向けた取組みを行うとともに、これまで世界の研究をリードしてきた京都大学原子炉実験所の BNCT 研究拠点あり方、機能強化について、関係者間で検討を進めていきます。

■「大阪府強靱化地域計画」の着実な推進

- ・ 引き続き、関係部局において防潮堤、水門、ため池等の耐震対策や治山ダム等の風水害対策を進めるなど、今後も安全・安心なまちづくりに向け、「大阪府強靱化地域計画」に基づく取組みを着実に推進していきます。